

ごみ処理施設整備運営事業
事業者選定に関する客観的評価結果の公表

ごみ処理施設整備運営事業を実施する民間事業者を選定したので、客観的な評価の結果をここに公表する。

平成29年3月31日

桑名広域清掃事業組合 管理者 伊藤 徳宇

I 事業の概要

1 事業名

ごみ処理施設整備運営事業

2 事業の内容

(1) 事業方式

DBO方式

(2) 事業期間

1) 設計・建設期間：契約締結日から平成33年3月まで（試運転期間含む）

2) 管理運営期間：平成33年4月から平成53年3月までの20年間

なお、設計・建設期間については、事業者提案による短縮も認める。事業者提案による設計・建設期間の短縮を組合が認めた場合、管理運営期間は、事業者提案による設計・建設期間終了から20年間となる。

(3) 施設の概要等

1) ごみ焼却施設（新設）

表1 ごみ焼却施設

基本条件	
(1) 事業予定地	三重県員弁郡東員町大字穴太地内
(2) 対象廃棄物	可燃ごみ、可燃性粗大ごみ、可燃残渣、災害廃棄物
(3) 処理方式	ストーカ方式
(4) 処理能力	174t/日（87t/日×2炉）
(5) 稼働時間	24h/日
(6) 稼働開始時期	平成33年4月（予定）

2) リサイクルプラザ (既設)

表2 リサイクルプラザ

基本条件	
(1)事業地	三重県桑名市多度町力尾地内
(2)対象廃棄物	粗大ごみ、不燃ごみ、缶類、びん類、紙類、布類、不燃残渣、災害廃棄物
(3)処理設備等	不燃・粗大処理施設 (低速、高速回転破砕機) 缶選別施設 びん選別施設 ストックヤード (紙類・布類)
(4)処理能力	不燃・粗大処理施設：55t/5h 缶選別施設：5t/5h びん選別施設：2t/5h
(5)稼働時間	5h/日
(6)稼働開始日	平成14年12月1日

3) プラスチック圧縮梱包施設 (既設)

表3 プラスチック圧縮梱包施設

基本条件	
(1)事業地	三重県員弁郡東員町大字穴太地内
(2)対象廃棄物	プラスチック製容器包装
(3)処理設備等	プラスチック圧縮梱包施設 (破袋機、圧縮梱包機等)
(4)処理能力	17t/5h (8.5t/5h×2系列)
(5)稼働時間	5h/日
(6)稼働開始日	平成20年10月1日

4) 管理棟 (既設)

表4 管理棟

基本条件	
(1)事業地	三重県桑名市多度町力尾地内
(2)建築構造	鉄筋コンクリート造3階建
(3)延床面積	2,725.54 m ²

(4) 事業者の業務内容

1) 工事対象施設の設計・建設業務

- a 工事対象施設の新設設計及び既設の給排水・電気設備等切替・改良 (付随する解体・撤去含む) 設計
- b 工事対象施設の新設工事及び既設の給排水・電気設備等切替・改良 (付随する解体・撤去含む) 工事
- c 測量・地質等の組合が提示する調査結果以外に必要となる調査
- d 組合の循環型社会形成推進交付金 (以下「交付金」という) 申請支援

- e 組合の環境影響評価に関する支援
- f 組合が行う許認可申請支援
- g 建設工事に係る許認可申請
- h 住民対応（事業者が負担すべき対応）
- i その他これらを実施するうえで必要な業務

2) 管理運営対象施設の管理運営に関する業務

- a 受入業務
- b 運転管理業務
- c 物品・用役調達業務
- d 維持管理業務（既存施設については50万円以上の修繕・設備更新を除く）
- e 環境管理業務
- f 処分・資源化業務
 - 1) 主灰・飛灰の運搬業務及び資源化業務（事業者提案により自ら実施する場合）
 - 2) 缶類圧縮成形品、カレット、紙類、布類、金属類等の資源化業務
 - 3) 可燃残渣・不燃残渣の処分業務
- g 余熱利用業務（事業者提案により自ら実施する場合）
- h 安全管理業務
- i 情報管理業務
- j 啓発業務（事業者が負担すべき範囲）
- k その他関連業務（住民対応業務（事業者が負担すべき範囲）、植栽管理業務、財産管理業務（事業者が負担すべき範囲））
- l その他これらを実施するうえで必要な業務

II 事業者選定の概要

1 事業者の選定方法

事業者の募集および選定は、総合評価一般競争入札方式により行った。

2 事業者選定の経過

表5 事業者の募集・選定スケジュール

平成28年 4月22日(金)	実施方針の公表
平成28年 5月 9日(月) ～5月20日(金)	実施方針に対する質問・意見の受付
平成28年 6月17日(金)	実施方針に対する質問・意見への回答の公表
平成28年 7月15日(金)	特定事業の選定
平成28年 8月 3日(水)	入札公告(入札説明書等の公表)
平成28年 8月22日(月) ～8月26日(金)	質問の受付(第1回)
平成28年 9月16日(金)	質問回答の公表(第1回)
平成28年 9月28日(水) ～9月30日(金)	参加表明書、参加資格審査申請書類受付
平成28年10月19日(水)	参加資格審査結果の通知
平成28年11月 2日(水) ～11月 4日(金)	質問の受付(第2回)
平成28年11月25日(金)	質問回答の公表(第2回)
平成29年 1月 5日(木) ～1月 6日(金)	入札書類の受付
平成29年 3月18日(土)	提案書に関するヒアリングの実施
平成29年 3月18日(土)	落札者の決定及び公表

3 「ごみ処理施設整備専門委員会」の設置

組合は、事業者選定にあたり、学識経験者及び組合構成市町の職員等で構成する「ごみ処理施設整備専門委員会」(以下「専門委員会」という。)を設置した。

専門委員会は、次の9名で構成した。

委員長	伊藤 秀章	名古屋大学名誉教授
委員	荒井 喜久雄	(公社)全国都市清掃会議 技術指導部長
委員	加藤 忠哉	三重大学名誉教授
委員	木村 好己	公認会計士
委員	野本 修	弁護士
委員	柳川 弘行	桑名市経済環境部長
委員	森 清秀	木曾岬町政務統括監兼総務政策課長
委員	伊藤 通数	東員町生活部長
委員	和氣城 太郎	三重県環境生活部廃棄物対策局 RDF・広域処理推進監

4 専門委員会の開催経過

表6 事業者選定に関する専門委員会の開催及び審議事項等

日付	主な審議事項
平成28年 4月18日(月)	<ul style="list-style-type: none">・事業者選定の流れについて・実施方針について
平成28年 7月 5日(火)	<ul style="list-style-type: none">・実施方針に対する質問及び意見への回答に関する報告・特定事業の選定に関する報告・要求水準書について・落札者決定基準について・その他入札公告について
平成28年12月 5日(月)	<ul style="list-style-type: none">・入札公告以降の経過報告について・審査の進め方について
平成29年 3月18日(土)	<ul style="list-style-type: none">・入札参加者へのヒアリング・最終審査の実施・入札価格の確認及び総合評価による最優秀提案の選定

5 審査の方法

審査の方法については、次のとおりとした。

(1) 審査の手順及び方法

1) 入札参加資格の確認審査

組合は、入札参加者から提出される参加表明書及び参加資格審査申請書類により、入札説明書に示す参加資格要件をすべて満たしていることを確認する。参加資格要件を満たしていない場合は失格とする。

2) 提案内容の審査

①提案内容の基礎審査

組合は、提案書類に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目(表7)をすべて満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。

表7 基礎審査の項目

審査対象	基礎審査項目
共通事項	<ul style="list-style-type: none"> ・提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。 ・提案書全体について、様式集に従った構成（項目の構成、枚数制限等）となっていること。
各提案書	<ul style="list-style-type: none"> ・当該提案に関する各様式に示す項目に対する提案の内容が要求水準書等に反していないこと。 ・リスク分担に関し、特定事業契約を構成する各契約書（案）で示したリスクの分担と齟齬がないこと。 ・事業者提案による売電業務によって得られる組合収入相当額が審査基準価格2,371,000,000円以上であること。 ・事業者提案による主灰・飛灰の運搬業務及び資源化業務に係る提案価格が審査基準価格2,840,000,000円以下であること。
設計図書	<ul style="list-style-type: none"> ・設計図書の内容が要求水準書等に反していないこと。

②提案内容の加点審査

専門委員会は、全ての基礎審査項目を満たしていることが確認された提案書の加点審査を行う。

なお、加点審査における各審査項目の配点及び評価の視点については、本事業に期待する事項の必要性又は重要性を勘案して設定した。

③非価格要素の得点化方法

専門委員会は、提案書に記載された内容について、要求水準書等に示す要件を超える部分に対して、「加点審査の配点表」（表9）に基づき、その評価に応じた得点を付与する。

得点の付与にあたっては、非価格要素審査項目について、その小項目毎に、以下に示す「非価格要素の得点化方法」（表8）に示す5段階評価により得点を付与する。

表8 非価格要素の得点化方法

評価	判断基準	得点化方法
A	当該評価項目において、特に優れている	配点×1.00
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	当該評価項目において、優れている	配点×0.50
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	当該評価項目において、要求水準程度	配点×0.00

表9 加点審査の配点表

審査項目		評価基準	配点	
安全・安心で信頼される施設	安定稼働	安定的な処理システム	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ量、ごみ質の変動に対して、安定かつ連続的な処理が可能な計画か。【設計・建設、管理運営】 ・災害廃棄物処理への対応、災害時の処理の継続について有効な計画か。【設計・建設、管理運営】 ・その他、安定的な処理システムに資する優れた提案があるか。【設計・建設、管理運営】 	3
		維持管理の容易性	<ul style="list-style-type: none"> ・部品調達の容易性が考慮された計画か。【設計・建設】 ・機器故障・トラブル時における対応及び補修時における利便性・容易性を考慮し、互換性を持たせた機器構成や機器点数とした計画か。【設計・建設】 ・使用環境及び耐久性に配慮した材質の計画か。【設計・建設】 ・点検、補修、更新等が安全かつ容易に実施できる機器配置及び作業動線計画か。【設計・建設】 ・既存施設の突発的な補修に対し対応可能な計画か。【管理運営】 ・その他、維持管理の容易性に資する優れた提案があるか。【設計・建設、管理運営】 	3
		運転計画	<ul style="list-style-type: none"> ・既存施設的能力・基本性能を十分発揮できる運転、停止、点検、補修計画か。【管理運営】 ・本施設と既存施設が連携するとともにお互いに事故やトラブルの影響が少ない作業面や安全面を考慮した計画か。【管理運営】 ・事故等回避策、事故等発生時の安全対策について、有効な計画か。【設計・建設、管理運営】 ・自動運転やデータ記録について、利便性やシステムの異常時を考慮した計画か。【設計・建設】 ・その他、運転計画に関して安定稼働に資する優れた提案があるか。【設計・建設、管理運営】 	4
		受入対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ搬入等の受入体制、受付対応、搬入禁止物の搬入管理、事業系廃棄物等の搬入チェック体制は適切か。【設計・建設、管理運営】 ・混入した搬入禁止物等を円滑に処理フロー外へ排出する創意工夫があるか。【設計・建設、管理運営】 ・その他、受入対応に関して安定稼働に資する優れた提案があるか。【設計・建設、管理運営】 	2
	安全の確保	工事期間中及び平常時の安全	<ul style="list-style-type: none"> ・建設中の安全管理について、適切な計画か。【設計・建設】 ・人為的ミスによるトラブルを防止する機能やシステム、ルールの構築及び事後対策について有効な計画か。【設計・建設、管理運営】 ・火災原因物や火災発生原因毎の具体的対策と延焼防止対策について適切な計画か。【設計・建設、管理運営】 ・教育、訓練方法が継続的に更新、改善可能な計画か。【管理運営】 ・その他、工事期間中及び平常時の安全確保に資する優れた提案があるか。【設計・建設、管理運営】 	2

審査項目		評価基準	配点
安全・安心で信頼される施設	安全の確保	<p>BCP（事業継続計画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害、緊急時において、迅速かつ確実に対応できるような計画（予防対策、緊急停止、避難、通報等のシステム）か。【設計・建設、管理運営】 ・緊急避難時における見学者、施設利用者及び作業員の安全確保方策が適切な計画か。【設計・建設、管理運営】 ・その他、BCPに資する優れた提案があるか。【設計・建設、管理運営】 	4
	安全の確保	<p>全体配置・動線計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬出入車の出入口について、通行者、搬出入者双方の安全に配慮した計画か。【設計・建設、管理運営】 ・敷地内の車両動線と見学者動線を明確に区分しているか。場内誘導、サイン計画等、場内の安全性に配慮した計画か。【設計・建設、管理運営】 ・渋滞の無い車両動線、十分な待車スペースの確保、搬入出時間の短縮化等、利便性に配慮した計画か。【設計・建設、管理運営】 ・その他、配置動線に関して安全確保に資する優れた提案があるか。【設計・建設、管理運営】 	2
地球環境に配慮した施設	資源循環型社会構築への対応	<p>資源化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・灰の発生量を低減させるために有効な計画か。【設計・建設、管理運営】 ・灰の性状確保のための方策として有効な計画か。【設計・建設、管理運営】 ・資源化物（鉄類、アルミ類、カレット、紙類、布類、プラスチック製容器包装圧縮梱包品等）の品質及び回収率の向上に対する創意工夫があるか。【設計・建設、管理運営】 ・資源化物の流通体制の確保に対する措置は適切か。【管理運営】 ・その他、資源化に資する優れた提案があるか。【設計・建設、管理運営】 	4
	周辺環境への対応	<p>公害防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境への影響を極力抑えた排ガスの要監視基準、運転基準値等の設定及び対策が適切か。【設計・建設、管理運営】 ・公害防止基準の遵守に有効な計画か。【設計・建設、管理運営】 ・排ガス中の水銀等の抑制及び将来規制された場合の対策について、妥当性のある計画か。【設計・建設、管理運営】 ・騒音、振動、悪臭等対策に関し、有効な対策があるか。【設計・建設、管理運営】 ・その他、公害防止に資する優れた提案があるか。【設計・建設、管理運営】 	4
	地球温暖化への対応	<p>温室効果ガス排出抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設中の省エネルギー対策に創意工夫があるか。【設計・建設】 ・施設の稼働に伴って発生する温室効果ガスの削減が可能な計画か。【設計・建設】 ・効率的な運転により、温室効果ガス削減のための創意工夫があるか。【管理運営】 ・その他、温室効果ガス排出抑制に資する優れた提案があるか。【設計・建設、管理運営】 	4

審査項目		評価基準	配点	
未利用エネルギーの有効活用	エネルギーの有効活用	発電効率	<ul style="list-style-type: none"> ・発電効率および発電量向上のための設備上の創意工夫があるか。【設計・建設】 ・効率的な操炉計画による発電量の最大化のための創意工夫があるか。【管理運営】 ・その他、発電効率の向上に資する優れた提案があるか。【設計・建設、管理運営】 	4
		再生可能エネルギーの有効活用	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの有効活用を考慮した計画か。【設計・建設】 ・その他、再生可能エネルギーの有効活用に資する優れた提案があるか。【設計・建設、管理運営】 	2
経済性に優れた施設	ライフサイクルコストの低減	工期の短縮	<ul style="list-style-type: none"> ・工期短縮の提案があるか。【設計・建設】 ・工期短縮に対する創意工夫が適切で、実効性があるか。【設計・建設】 ・その他、工期の短縮に資する優れた提案があるか。【設計・建設、管理運営】 	3
		長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> ・事業終了後（10年以上）の継続にかかる点検、検査、補修及び更新にかかる費用の最小化を考慮した計画か。【設計・建設、管理運営】 ・事業終了後、新たな運営事業者が継続して運営可能となるよう、業務引継方法等が円滑な計画か。【管理運営】 ・その他、施設の長寿命化に資する優れた提案があるか。【設計・建設、管理運営】 	4
	安定経営	経営計画・収支計画	<ul style="list-style-type: none"> ・運営事業の終了まで、財政的に健全な運営が可能な経営計画、事業収支計画か。【管理運営】 ・SPCの経営悪化時の対応策としての資金調達支援、出資金額の設定などについて、適切な計画か。【管理運営】 ・運営初期段階の円滑な業務実施体制、構成企業間の業務分担、代表企業のマネジメント体制が適切な計画か。【管理運営】 ・その他、経営計画・収支計画に資する優れた提案があるか。【管理運営】 	2
		リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> ・リスク顕在化確率やリスク顕在化時の影響を極小化するためのリスク管理方針と管理体制の構築が適切な計画か。【設計・建設、管理運営】 ・必要かつ十分なセルフモニタリング（事業計画のモニタリング）の内容、頻度が適切な計画か。【設計・建設、管理運営】 ・運営事業者の倒産や第三者賠償など、想定されるリスクに対して付保される保険が適切な計画か。【設計・建設、管理運営】 ・その他、リスク管理に資する優れた提案があるか。【設計・建設、管理運営】 	2

審査項目		評価基準	配点
地域に親しまれる施設	環境学習拠点としての機能	啓発・情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・周辺住民との信頼関係の確立に寄与する効果的、具体的な方策があるか。【管理運営】 ・環境負荷低減策などの環境保全活動内容及びその情報公開方法について、有効な計画か。【設計・建設、管理運営】 ・工事中の情報発信について、創意工夫があるか。【設計・建設】 ・施設見学者の見学内容、見学ルート、引率、説明方法、見学場所、見学窓の配置等が、適切な計画か。【設計・建設、管理運営】 ・学習コンテンツが環境学習及び啓発に有効であり、社会の変化に即応した対処が可能な計画か。【設計・建設、管理運営】 ・その他、啓発・情報発信に資する優れた提案があるか。【設計・建設、管理運営】 	4
	地域との関連性	地域貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業の活用内容と活用規模に最大限配慮した計画か。【設計・建設、管理運営】 ・地元雇用の拡大を図り、長期にわたって雇用を確保する計画か。【設計・建設、管理運営】 ・用役及び資材等の調達において、地元経済の活性化に寄与する計画か。【設計・建設、管理運営】 ・地域の信頼を得るためのCSR活動に創意工夫があるか。【設計・建設、管理運営】 ・その他、地域貢献に資する優れた提案があるか。【設計・建設、管理運営】 	4
		既存施設等との調和 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の外観が周辺環境や既存施設と調和をとりつつ、ごみ処理施設のイメージを感じさせない、洗練されたデザインか。【設計・建設】 ・緑化（森林）面積の確保を最大限配慮した計画か。【設計・建設】 ・その他、既存施設等の調和に資する優れた提案があるか。【設計・建設】 	3
		非価格要素（基本業務） 計	60
その他事項	提案業務	売電業務に対する提案 <ul style="list-style-type: none"> ・売電収入の向上に向けた売電単価、売却先等に対し、具体的、実現的な提案か。【管理運営】 ・PPSの活用等による有効な提案があるか。【管理運営】 ・電力政策の変更などで安定的な売電収入が見込めなくなる場合のリスク回避の考え方が妥当か。【管理運営】 ・その他、売電業務に資する優れた提案があるか。【管理運営】 	3
		灰の資源化業務に対する提案 <ul style="list-style-type: none"> ・安定的な資源化委託先の確保に対する方策について有効な提案か。【管理運営】 ・資源化費用抑制の方策について有効な提案か。【管理運営】 ・運搬・資源化で発生する温室効果ガスの抑制についても考慮した提案か。【管理運営】 ・その他、灰の資源化に資する優れた提案があるか。【管理運営】 	2
		非価格要素（提案事業） 計	5

3) 価格要素の得点化方法

基本業務及び提案業務のそれぞれについて入札価格点を付与する。入札価格点は、次に示す式により算定する。

(算定式)

$$\text{入札価格点} = \text{基本業務の入札価格点} + \text{提案業務の入札価格点}$$

基本業務及び提案業務それぞれの入札価格点は、次の方法により得点を付与する。

①基本業務に係る入札価格点

ア 入札参加者の中で、入札価格のうち、基本業務に係る提案価格が最低となった提案に対し、価格に関する配点の満点を付与する。

イ 他の入札参加者の提案については、入札価格のうち、基本業務に係る最低提案価格との比率により算出する。得点は小数点以下第三位を四捨五入した値とする。

(算定式)

$$\text{基本業務に係る入札価格点} = 40 \text{点} \times \frac{\text{入札価格のうち、基本業務に係る最低提案価格}}{\text{入札価格のうち、基本業務に係る提案価格}}$$

②提案業務に係る入札価格点

ア 売電業務に係る入札価格点

a 入札参加者の中で、入札価格のうち、売電業務に係る提案価格（組合収入相当額）が最高となった提案に対し、価格に関する配点の満点を付与する。

b 他の入札参加者の提案については、入札価格のうち、売電業務に係る最高提案価格との比率により算出する。得点は小数点以下第三位を四捨五入した値とする。

(算定式)

$$\text{売電業務に係る入札価格点} = 4 \text{点} \times \frac{\text{入札価格のうち、売電業務に係る提案価格}}{\text{入札価格のうち、売電業務に係る最高提案価格}}$$

イ 主灰・飛灰の運搬及び資源化業務に係る入札価格点

a 入札参加者の中で、入札価格のうち、主灰・飛灰の運搬及び資源化業務に係る提案価格が最低となった提案に対し、価格に関する配点の満点を付与する。

b 他の入札参加者の提案については、入札価格のうち、主灰・飛灰の運搬及び資源

化業務に係る最低提案価格との比率により算出する。得点は小数点以下第三位を四捨五入した値とする。

(算定式)		入札価格のうち、主灰・飛灰の運搬 及び資源化業務に係る最低提案価格
灰資源化業務に係る入札価格点	= 4点 ×	入札価格のうち、主灰・飛灰の運搬 及び資源化業務に係る提案価格

4) 総合評価値の算定

総合評価値は、非価格要素（提案内容の加点審査）と価格要素（入札価格）との合計により算定する。総合評価値の算定にあたり、提案業務の提案を行った場合は、非価格要素及び価格要素の得点をそれぞれ 60 点、40 点満点に換算して行うものとする（60 点、40 点満点への換算値は、小数点以下第三位を四捨五入した値とする）。

なお、提案業務を含む非価格要素及び価格要素の得点をそれぞれ 60 点、40 点満点に換算した場合において、当該換算値が基本業務の総合評価値の点数よりも低くなる場合は、基本業務の総合評価値を採用するものとする。この場合の提案業務は、基礎審査項目を満たし、かつ提案業務に係る審査基準価格を超えないものであり、評価対象であることから、当該提案業務を組合は採用するものとする。

6 審査結果

(1) 参加資格審査

組合は、平成 28 年 8 月 3 日に入札公告を行い、平成 28 年 9 月 28 日から 9 月 30 日の間に参加表明書及び参加資格審査申請書類を受け付けたところ、表 10 に示す 2 グループから入札参加の申請があった。

参加資格審査において、入札参加資格を有することを確認し、平成 28 年 10 月 19 日に代表企業に対し入札参加資格確認を書面にて通知した。

なお、当該入札参加者には、提案書作成にあたって、表 10 に示す提案書番号を用いるよう通知した。したがって、専門委員会は具体的な企業名を知ることなく加点審査を行った。

表 10 入札参加者一覧表

提案書番号	ウメグループ	ハナミズキグループ
グループ名	日立造船グループ	荏原環境プラント株式会社 中部支店グループ
代表企業	日立造船株式会社 中部支社	荏原環境プラント株式会社 中部支店
構成企業 または 協力企業	Hitz 環境サービス株式会社 エスエヌ環境テクノロジー株式会社 西濃建設株式会社 三重中央開発株式会社 株式会社油研 中部リサイクル株式会社	大成建設株式会社 名古屋支店 大成建設株式会社 三重営業所 エス・エヌ・ケー・テクノ株式会社 太平洋セメント株式会社 中部北陸支店 三重中央開発株式会社

(2) 基礎審査

組合は、平成 29 年 1 月 5 日から 1 月 6 日の間に 2 グループから提出された提案書について基礎審査を行い、両グループとも基礎審査の項目を満たしていることを確認した。

(3) 加点審査

①提案内容の加点審査

専門委員会は、平成 29 年 3 月 18 日に 2 グループの提案書について、落札者決定基準に基づき入札価格以外の審査項目について加点審査を行った。審査結果は、「提案内容の加点審査結果」(表 11) に示すとおりであり、2 グループの提案について専門委員会が評価した事項を別紙 1 に示す。

表 11 加点審査結果一覧表

審査項目		配点	得点	
			日立造船グループ	荏原環境プラント株式会社 中部支店グループ
1. 安全・安心で信頼される施設		20	10.71点	12.94点
安定稼働	安定的な処理システム	3	1.58点	2.33点
	維持管理の容易性	3	1.58点	1.83点
	運転計画	4	2.11点	2.44点
	受入対応	2	1.11点	1.28点
安全の確保	工事期間中及び平常時の安全	2	1.11点	1.11点
	B C P (事業継続計画)	4	2.22点	2.56点
	全体配置・動線計画	2	1.00点	1.39点
2. 地球環境に配慮した施設		12	7.21点	8.23点
資源循環型社会構築への対応	資源化対策	4	2.33点	3.00点
周辺環境への対応	公害防止対策	4	2.44点	2.56点
地球温暖化への対応	温室効果ガス排出抑制	4	2.44点	2.67点
3. 未利用エネルギーの有効活用		6	3.33点	4.22点
エネルギーの有効活用	発電効率	4	2.11点	3.11点
	再生可能エネルギーの有効活用	2	1.22点	1.11点
4. 経済性に優れた施設		11	7.23点	7.92点
ライフサイクルコストの低減	工期の短縮	3	1.67点	2.42点
	長寿命化	4	2.44点	3.44点
安定経営	経営計画・収支計画	2	1.56点	1.06点
	リスク管理	2	1.56点	1.00点
5. 地域に親しまれる施設		11	6.24点	7.64点
環境学習拠点としての機能	啓発・情報発信	4	2.44点	2.89点
地域との関連性	地域貢献	4	2.22点	3.00点
	既存施設等との調和	3	1.58点	1.75点
6. その他		5	2.64点	2.94点
提案業務	売電業務に対する提案	3	1.58点	1.50点
	灰の資源化業務に対する提案	2	1.06点	1.44点
提案内容の加点審査点		(配点)		
合計	基本業務 (上記1～5の合計)	60点	34.72点	40.95点
	基本業務+提案業務	65点	37.36点	43.89点
	(上記1～6の合計)	60点換算	34.49点	40.51点

②入札価格の加点審査

組合は、平成 29 年 3 月 18 日の専門委員会と同日に、専門委員会による入札価格以外の審査が終了した後、別室で 2 グループ立ち会いのもと入札書の開札を行い、その結果を専門委員会へ報告した。2 グループの入札価格及び価格点は「入札価格」（表 12）及び「入札価格点」（表 13）のとおりであった。

表 12 入札価格

	日立造船グループ	荏原環境プラント株式会社 中部支店グループ
入札価格	23,727,444,098円	21,386,503,831円
入札価格のうち、基本業務に係る価格	23,400,000,007円	21,099,300,063円
入札価格のうち、売電業務に係る価格	▲ 2,371,016,560円	▲ 2,400,798,664円
入札価格のうち、主灰・飛灰の運搬業務及び資源化業務に係る価格	2,698,460,651円	2,688,002,432円

表 13 入札価格点

	日立造船グループ	荏原環境プラント株式会社 中部支店グループ
基本業務に係る入札価格点	36.07点	40.00点
売電業務に係る入札価格点	3.95点	4.00点
主灰・飛灰の運搬業務及び資源化業務に係る入札価格点	3.98点	4.00点
合計	44.00点	48.00点

(4) 最優秀提案の選定

専門委員会は、加点審査における各項目に対する得点の合計値を総合評価値とし、荏原環境プラント株式会社中部支店グループを最優秀提案に選定した（表14）。

表 14 総合評価値

審査項目		配点	得点	
			日立造船グループ	荏原環境プラント株式会社中部支店グループ
①提案内容の加点審査点		(配点)		
合計	基本業務	60点	34.72点	40.95点
	基本業務+提案業務	65点	37.36点	43.89点
		60点換算	34.49点	40.51点
②入札価格点		(配点)		
基本業務		40点	36.07点	40.00点
提案業務		48点	44.00点	48.00点
		40点換算	36.67点	40.00点
①+②の合計（非価格要素+価格要素の単純合計）		(配点)		
基本業務・・・α		100点	70.79点	80.95点
提案業務		113点	81.36点	91.89点
		100点換算 ・・・β	71.16点	80.51点
総合評価値（採用得点）※		(配点)	ウメグループ	ハナミズキグループ
基本業務+提案業務		100点	71.16点	80.95点

※100点満点の換算値の合計（上記β）が基本業務のみの総合評価値（上記α）を下回った場合、基本業務のみの総合評価値（上記α）を採用

7 落札者の決定

組合は、専門委員会が選定した結果を踏まえ、平成29年3月18日に荏原環境プラント株式会社中部支店グループを落札者として決定・公表した（表15）。

表15 落札者

荏原環境プラント株式会社 中部支店グループ	
代表企業	荏原環境プラント株式会社 中部支店
設計・建設企業（プラント担当）	荏原環境プラント株式会社 中部支店
設計企業（建屋担当）	大成建設株式会社 名古屋支店
建設企業（建屋担当）	大成建設株式会社 三重営業所
運転管理企業	荏原環境プラント株式会社 中部支店
維持管理企業	荏原環境プラント株式会社 中部支店
灰運搬企業	エス・エヌ・ケー・テクノ株式会社
灰資源化企業	太平洋セメント株式会社 中部北陸支店
不燃残渣運搬企業	三重中央開発株式会社
不燃残渣処分企業	三重中央開発株式会社

8 審査講評

別紙2に専門委員会の審査講評を示す。

9 落札者の事業計画に基づく財政支出の削減効果

落札者の落札価格に基づき、本事業をDBO事業として実施する場合の組合の財政支出と、組合が直接事業を実施する場合の財政支出の比較を行った結果、現在価値換算で約20%の削減が見込まれるとともに、落札者の提案により、事業期間を通じて良質な公共サービスを提供することが期待できる。

表 16 専門委員会が評価した事項

審査項目	評価
1. 安全・安心で信頼される施設	
安定稼働	
安定的な処理システム	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、安定燃焼に関する優れた提案があった点を評価した。 ハナミズキグループについては、不正搬入の監視や災害廃棄物への対応の可能性に関する優れた提案があった点を評価した。
維持管理の容易性	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、使用環境・耐久性に配慮した材質の計画に関する優れた提案があった点を評価した。特にハナミズキグループについては、各種の優れた提案があった点を評価した。
運転計画	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、本施設に関する優れた提案があった点を評価した。 ハナミズキグループについては、既存施設に関する効果的な提案があった点を評価した。
受入対応	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、各種の搬入禁止物の管理体制に関する提案があった点を評価した。
安全の確保	
工事期間中及び平常時の安全	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、各種の効果的な安全対策に関する優れた提案があった点を評価した。
BCP（事業継続計画）	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、各種の事業継続に関する優れた提案があった点を評価した。
全体配置・動線計画	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、各種の安全性・利便性に配慮した車両動線等に関する優れた提案があった点を評価した。特にハナミズキグループについては、渋滞対策に関する有効な提案があった点を評価した。
2. 地球環境に配慮した施設	
資源循環型社会構築への対応	
資源化対策	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、灰の発生量の低減化や資源物の品質・回収率の向上等に関する優れた提案があった点を評価した。特にハナミズキグループについては、資源物の品質・回収率に関する具体的な提案があった点を評価した。
周辺環境への対応	
公害防止対策	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、排ガスの環境への影響に配慮した、排ガスの設定及び対策の提案があった点を評価した。 ハナミズキグループについては、騒音・振動・騒音に関する有効な提案があった点を評価した。
地球温暖化への対応	

審査項目	評価
温室効果ガス排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、各種の取り組みにより所定の温室効果ガス排出量を下回る提案があった点を評価した。特にハナミズキグループについては、消費電力量の削減に関する有効な提案があった点を評価した。
3. 未利用エネルギーの有効活用	
エネルギーの有効活用	
発電効率	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、各種の取り組みにより所定の発電効率を上回る発電効率の提案があった点を評価した。
再生可能エネルギーの有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、再生可能エネルギーの有効利用に関する提案があった点を評価した。
4. 経済性に優れた施設	
ライフサイクルコストの低減	
工期の短縮	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、各種の取り組みによる工期の短縮提案があった点を評価した。特にハナミズキグループについては、大幅な工期の短縮提案があった点を評価した。
長寿命化	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、事業終了後 10 年以上の補修費の低減に関する優れた提案があった点を評価した。特にハナミズキグループについては、補修費の低減・平準化に関する優れた提案があった点を評価した。
安定経営	
経営計画・収支計画	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、SPCの健全な運営計画に関する優れた提案があった点を評価した。特にウメグループについては、十分な資本金額の設定や内部留保金の確保に関する優れた提案があった点を評価した。
リスク管理	<ul style="list-style-type: none"> ウメグループについては、第三者機関を活用したセルフモニタリングに関する優れた提案があった点を評価した。
5. 地域に親しまれる施設	
環境学習拠点としての機能	
啓発・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、周辺住民との連携に係る取り組みや学習コンテンツなどに優れた提案があった点を評価した。
地域との関連性	
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、地元企業の活用や地元雇用の拡大を図る優れた提案があった点を評価した。特にハナミズキグループについては、地元企業の活用に関する意欲的な提案があった点を評価した。
既存施設等との調和	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、緑化面積の確保について具体的かつ意欲的な提案があった点を評価した。

審査項目	評価
6. その他	
提案業務	
売電業務に対する提案	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、代表企業による固定買取や学校教育との連携について優れた提案があった点を評価した。
灰の資源化業務に対する提案	<ul style="list-style-type: none"> 両グループとも、バックアップも含めた灰の資源化に関する優れた提案があった点を評価した。特にハナミズキグループについては、確実性や環境性に関する提案があった点を評価した。

ごみ処理施設整備運営事業

審査講評

本事業は、三重県のRDF焼却・発電事業が平成32年度末に終了することに伴い、新たなごみ処理施設の整備を行うとともに、同施設のほかリサイクルプラザ、プラスチック圧縮梱包施設等の管理運営をあわせた一体的な事業とすることで、DBO方式による効率的・効果的な事業実施を期待するものです。

2グループからの提案は、いずれも独自の技術やノウハウが随所に組み込まれていました。特に、両グループ共に任意の提案業務に対して提案があり、本事業に対する積極的な姿勢を大いに感じさせるものでした。提案書の作成には相当の労力を要したと推察されますが、このような優れた提案をまとめた両グループに対して、深く敬意と謝意を申し上げます。

ごみ処理施設整備専門委員会は、あらかじめ公表した落札者決定基準に則り、厳正かつ公正に審査を行い、荏原環境プラント株式会社中部支店グループを最優秀提案者として選定しました。

今後、荏原環境プラント株式会社中部支店グループは、組合が掲げる5つの施設整備基本方針「安全・安心で信頼される施設」、「地球環境に配慮した施設」、「未利用エネルギーの有効活用」、「経済性に優れた施設」及び「地域に親しまれる施設」に基づき、誠意を持って提案内容を履行されるものと期待しますが、本事業をより良いものとするため、以下の事項に十分配慮した上で実施するよう要望します。

- ・ 事業期間中の事故防止、実効性のあるセルフモニタリング及び危機管理体制の構築に努めること。あわせて、施設内職員の安全管理の徹底に努めること。
- ・ 事業実施にあたっては地域住民に対する十分な説明を行うとともに、地域との良好な関係の構築と維持に努めること。
- ・ 地元企業の活用について、提案内容の確実な履行を行うとともに、より一層の活用に努めること。

最後に、組合と荏原環境プラント株式会社中部支店グループは、組合構成市町における適性かつ安全なごみ処理事業の実現のため、互いに良きパートナーとして事業の執行に努めることを希望します。

平成29年3月30日

ごみ処理施設整備専門委員会 委員長 伊藤 秀章